

■ 令和 5 年度 自己評価

1. 本園の教育目標

豊かな緑に囲まれ、心優しい先生の資質を大切に、
良く整備された環境の中で、

お友達と楽しく過ごす幼稚園生活の中から、

伸び伸びと明るく 元気に、

ごあいさつから始まる良い生活習慣

思いやりのある豊かな心と、

ものごとに自分から関わろうとする意欲やがんばる心を育てることを目標にしている。

2. 重点的に取り組む目標

本園の教育目標の達成に向け、保育内容の更なる充実を図るため、次の点に重点的に取り組み、健全な心身の育成を目指す。

- ① 教職員の資質の向上及び保育内容の充実
- ② 各種感染症拡大の防止対策と教育機会の確保
- ③ 安心・安全な保育の推進
- ④ ICT 化の推進

3. 重点取組項目の達成及び取組状況

- ① 園内研修や毎日のミーティング等を通じて、「明るく優しい笑顔・にこやかなご挨拶・綺麗な言葉遣い・礼儀作法・子ども達への適切な言葉かけ・けじめある指導力」など教職員の資質向上に取り組み、各クラスの保育の質の向上とレベルの均質化が図れた。
- ② 新型コロナウイルスが 2 類から 5 類に移行する一方で、RS ウィルス・ヘルパンギーナ・インフルエンザ・感染症胃腸炎等が拡大する中、適切な感染症対策と教育機会の両立を図った。その結果、園内でのクラスター発生及び休園はなく、2 クラス延べ 5 日間のクラス閉鎖のみにおさまった。
- ③ マスクのない園運営に戻した。イベントは、お泊まり保育を復活し、いちご狩り、遠足、みかん狩り、作品展、学芸会等計画通

り実行。運動会は親子競技を復活し全学年同時開催とした。

お誕生日会・運動会・作品展・ドッジボール大会等に、両親に加えて祖父母の参加も復活させ、老人会が参加できる園行事も復活させた。

- ④ 小学校 1 年生の授業参観及び一緒に遊ぶ行事を新たに行い、小学校と幼稚園の接続連携を実施した。
- ⑤ 園バスに安全装置を設置。熱中症対策と感染症対策として、プレイルームの窓に防熱シートを貼り、強力な換気扇を追加設置した。
- ⑥ 毎年他施設で重大事故が発生している園のプール活動を廃止して、年間を通じた外部のスイミングスクールに一本化し、安全な保育体制を進めた。防災・火災訓練、交通安全訓練に加えて防犯訓練を実施した。
- ⑦ 令和 4 年度から本格稼働した「らくらく園児管理システム」の運用を定着させ、職員の出退勤にも使用開始。園での用具販売を、袋と現金の受渡しからスマホからの依頼に変更するなど効率化を進めた。

4. 重点取組項目の総合的な評価結果

- ・ 教職員の資質向上への取組みにより、各クラスの保育の質の向上とレベルの均質化が図れ、子ども達が伸び伸びと成長していく姿が見受けられた。
- ・ 年少・満 3 歳児を中心に少人数クラスで手厚い教員体制としたことに対して、保護者から安心との評価を得た。
- ・ 各種感染症の拡大防止対策により園内の感染拡大を防止でき、教育の機会を確保できた(園内での感染拡大なし)。
- ・ お泊まり保育の復活、運動会の全学年同時開催等は、幼児教育の観点から保護者の評価が高かった。新型コロナウイルス発生後、園行事に参加できなかった祖父母も参加できる機会を設けることができ、保護者から感謝頂けた。
- ・ 園行事に招待した老人会の方々から、子どもたちのしっかりとしたご挨拶や演技の良さそして可愛らしさ等を見れて良かったと

喜んで頂いた。

- ・ 自園プールでのスイミングの廃止は、寂しいとの声もあったが、代わりにどろんこ遊びを増やしたり、年間で外部スイミングスクールに一本化したことも含め、安全への園の取組姿勢について理解と評価をいただけた。

5. 今後取組むべき課題

- ・ 教職員の質の向上は幼稚園での最重要課題であり、継続して資質向上に取り組んでいく。
- ・ 支援が必要な子どもの増加もあり、少人数での保育体制を進めていく必要がある。
- ・ 安全管理・安全教育は、定期的に継続して実施していく必要がある。遊具・設備の適切なメンテナンス、教職員及び子どもたちへの安全教育を継続していく。

■ 令和 5 年度 学校関係者評価

1. 学校関係者の評価

- ・ 質の高い教育内容、挨拶をはじめ、社会的マナーが身に付いている等、保護者、園医、講師、キラキラ広場の地域役員や老人会の方々から高い評価をいただいている。
- ・ 新型コロナウイルスが 2 類から 5 類に移行後も、感染症の拡大防止対策に保護者の理解・協力があり、園内で感染拡大した事例は発生しなかった。
- ・ 自園プールでのスイミング廃止には、寂しいとの声はあったが、安全管理への園の取組姿勢についてご理解と評価を頂いた。
- ・ お泊まり保育の復活や運動会の全学年同時開催、祖父母のイベント参加等、子ども達の思い出に残る行事が出来てよかった、幼稚園での子ども達の様子が見れて良かったと、子ども達自身も保護者も喜んでいただいた。

2. 財務状況

公認会計士監査に依り、適正に運営されていると認められている。一方で、少子化による園児の減少に加えて、補助金が圧縮率により予想以上に減少したことから収支は厳しくなっており、保育の質を落とさない範囲で収支改善の検討が必要となっている。